

関係者各位

日本ライフセービング協会
救助救命本部
JLA アカデミー本部
JLA メディカルダイレクター

第2回JLA事例検討会に伴う聴講者募集について

日本ライフセービング協会（以下、本協会）では、各地の海水浴場やプール等での監視・救助・救護活動で経験した事案を発表共有して頂き、各ライフセービングクラブにとって有益な情報共有の場となるようJLA事例検討会を開催します。JLA事例検討会は、2001年までJLA事業として実施していた『パトロール報告会』を継承し、2020年度まで実施されていた『症例検討会』を引き継ぐ事業となります。2025年度は下記の通り開催いたしますので是非ご参加ください。

記

1. 事例検討会実施日

2026年2月21日（土）17時00分から20時00分までを予定

2. 事例検討会実施場所

東京アクアティクスセンター 第二会議室A～D 東京都江東区辰巳2丁目2-1

※当日、第38回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会を開催しております。

3. 事例検討会実施方法

- (1) 発表項目をプレゼン質疑形式。対面でのみ実施。
- (2) メディカルダイレクターが同席し、医学的見地からコメントをし、質疑に回答する。
- (3) 参加者及び発表クラブ含め質疑時間を十分にとり、参加者皆さんと今後の対策を検討する。

3. 募集内容

(1) 発表事例 発表時間は各発表クラブ10分以内

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ① 勝浦ライフセービングクラブ | てんかん発作疑い、水浴場での心拍再開事例 |
| ② 南伊豆ライフセービングクラブ | 遊泳エリア内 CPA 事例 |
| ③ 熱川ライフセービングクラブ | 遊泳エリア内 CPA 事例 |
| ④ 館山サーフライフセービングクラブ | 遊泳エリア外 CPA 事例 |
| ⑤ 西浜サーフライフセービングクラブ | 遊泳エリア内 CPA、心拍再開含め2事例 |
| ⑥ 天橋立ライフセービングクラブ | 講習会中の溺水事故対応事例 |

(2) 参加者申請方法

- ① 下記エントリーフォーム及びQRコードから応募してください。

<https://forms.gle/vAGUfm7rUuZE93gFA>



- ② 募集期間 2025年12月17日(水)から2026年2月12日(木)12:00迄

- ③ 所属クラブがクラブ外活動等にルールを定めている場合は、参加許可を取った上で申込みをしてください。

- ④ 参加者多数の場合は募集締め切りが早まることがあります。

(3) その他

- ① 当該事業中に本協会及び本協会が認めた者が撮影した写真、映像、文章をライフセービングの広報、教本作成の目的で使用することがあります。
- ② 当該事業中に本協会が撮影を制限したり、拒否したりすることがあります。基本的に個人的なSNSなどを含めた情報の漏洩は、別途指示がある場合以外禁止となります。
- ③ 当事業に伴う発表及び発言事項は、第2回JLA事例検討会報告書として本協会で保管します。ただし、特定の個人や団体を示す表現があった場合は、伏せることとします。
- ④ 当事業で配付された資料は、会終了後に回収し破棄することをご承知ください。

募集に関する問合先

日本ライフセービング協会 事務局 担当 中山・蛭間 宛

〒105-0022 東京都港区海岸2丁目1番16号 鈴与浜松町ビル7階

TEL: 03-6381-7597 (12:00-18:00) E-mail: patrol@jla.gr.jp



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会